

【研究課題】

腸管出血性大腸菌感染症に対する抗菌剤の使用効果についての検討

【研究機関名及び研究責任者氏名】

研究機関名 名古屋市保健所中保健センター
名古屋市健康福祉局

責任研究者 名古屋市保健所中保健センター 保健予防課 片山 幸

【研究期間】

平成 30 (2018) 年 8 月 13 日から平成 32 (2020) 年 3 月 31 日

【対象となる方】

平成 19 (2007) 年から平成 29 (2017) 年に腸管出血性大腸菌感染症として名古屋市に届け出のあった症例

【本研究の目的】

集団感染や重篤な合併症を引き起こす腸管出血性大腸菌感染症においては、抗菌剤は根治のための唯一の治療法ですが、その有効性は確立されていません。これまでの複数の研究からは、抗菌剤の使用については相反する結果が出ており、治療法の確立およびガイドライン等への反映のため、症例の蓄積を行うことはきわめて重要であると考えられます。

【研究の方法】

腸管出血性大腸菌感染症と診断された症例の情報（性、年齢、症状および症状の持続期間、排菌期間、抗菌剤の使用の有無等）を、三類感染症として名古屋市保健所へ提出された届出票より、調査情報として転記入力します。入力後、名古屋市保健所中保健センターにて整理、解析します。

【個人情報の保護】

生年月日、氏名、住所等個人が特定できるデータは名古屋市健康福祉局外に持ち出さず、匿名化された調査情報のみを名古屋市保健所中保健センターにて整理、解析します。研究結果は関連の学会および論文にて発表する予定です。この場合においても、いかなる個人情報も公表されることはありません。

研究への協力を希望されない場合は、いつでも下記に記載されている担当者までお知らせください。研究より除外させていただきます。そのために不利益を被ることはありません。また、この研究につきまして、ご質問やご意見のある方は、**2018年9月28日まで**に下記までお問い合わせください。期日までにご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。なお、本研究は名古屋市衛生研究所等疫学倫理審査委員会の承認を得ています（受付番号 18）。

【問い合わせ先】

名古屋市保健所中保健センター 保健予防課 片山 幸

〒460-8447 名古屋市中区栄4丁目1番8号

電話：052-265-2262 Fax：052-265-2259

e-mail: a2514521-10@naka.city.nagoya.lg.jp

お問い合わせの際には「オプトアウトの件」でお伝え下さい。